

## 第5回若手の集いを終えて

正岡 功士\*

第56年会の初日(6月1日)に第5回若手の集いが開催されました。今回は会場の都合もあり2部制とし、第1部を講演会(於:KKRホテル東京)、第2部を懇親会(パレスサイドビル内居酒屋「百人亭」という形式にて開催いたしました。参加者は39名(評議員会から合流した参加者10名を含む)を数え、参加者の皆様のご協力により盛会となりました。

講演会におきましては、尾方昇氏(社)日本塩工業会 理事)を講師にお招きし、「これまでの社会、研究および人生経験に基づく若手技術者、研究者への提言」と題して、約1時間、ご講演を頂きました。50年にもおよび塩に携わったご経験を基に、研究者としてとるべき姿勢をわかりやすくお話し頂き、若手にとって貴重なメッセージとなりました。参加者からも年代を問わずご講演に対する感謝の声が多数寄せられました。

懇親会では、居酒屋という開放的な雰囲気の中、参加者間の交流を深め、様々な研究に携わる仲間との連携を図ることができました。

また、参加者には、集いに関する簡単なアンケートを実施し、約半数の回答を頂きました。それは以下の4点に集約できました。

- ・様々な研究に携わる若手研究者の連携とその環境づくり
- ・若手研究者のレベル向上へのサポート
- ・多様な専門分野間の技術的交流
- ・若手研究者の意見を学会に伝える窓口としての機能

これらのことを考慮すると、学会自体が抱えている問題の解決の糸口は若手の集いにもあるように思えます。そのためには、今後さらに集いを盛り上げていく必要がありますが、懇親会の中では、集いの幹事会を結成して、継続性や企画力を強化してはどうかという意見も話題になりました。このような参加者の意見を大切に、集いが今後とも発展していくことを祈念いたします。

最後になりましたが、講師を快く引き受けていただいた尾方昇さんには、感謝の気持ちで一杯です。また、企画に際しては千葉工業大学の尾上薫先生、松本真和さんを始め、年会実行委員会の皆様には色々とアドバイス、ご支援いただきました。その他、運営にあたって千葉工業大学学生の皆様、塩事業センターの皆様にもご協力をいただきました。紙面をお借りしまして感謝の意を表します。



第5回若手の集い講演会



第5回若手の集い懇親会

\* (財)塩事業センター海水総合研究所 (〒256-0816 小田原市酒匂4-13-20)